

第2学年C組 社会科学学習指導案

授業者 高橋 佑樹

1 単元名 日本の様々な地域 ～歩いて発見！附中周辺の特徴～

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）2内容 C（1）に以下のように位置付けられるものである。

C 日本の様々な地域

(1) 地域調査の手法場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること。

(イ) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること。

つまり、学習の全体を通して、地域調査を行う際の視点や方法を理解し、そのために必要な地理的技能を身に付けられるようにすることが求められている。

また、内容の取扱いには、「地域調査に当たっては、対象地域は学校所在地周辺とすること」「様々な資料を的確に読み取ったり、地図を有効活用して事象を説明したりするなどの作業的な学習活動を取り入れること」とある。学校周辺の地域は、生徒が生活舞台にしている地域であり、学習対象を生徒が直接体験できるといった特質を有している。そのため、文献調査にとどまらず実際に校外に出かけて観察や野外調査をして、地理的な事象を見だし、事象間の関連の発見過程を体験し、地理的な追究の面白さを実感できる作業的で具体的な体験を伴う学習を通して、地域調査の手法について理解し、地域調査に関わる地理的技能を身に付けることが大切である。

(2) 指導観

本単元では、観察対象の焦点化、野外調査方法の吟味、文献資料の収集などの適切な視点や、観察や野外調査、地図や統計、景観写真などの資料を活用する文献調査などの方法、地域調査の結果を地図や図表、写真などを取り入れるなどして表現する地理的なまとめ方の基礎を理解させることが重要である。本校は広範囲から電車等の手段を使い通学してくる生徒たちが多く、その実態から最寄り駅からの通学路を生活舞台として地域調査を行い、生徒たちが調査したいと必要感に駆られる主題を設定することが、今後の単元を見通した学びにつながると捉えた。地域調査に当たっては、認知地図（メンタルマップ）を通した附属中周辺特色や疑問、地形図やGISを活用して調べた特色と疑問、仲間との資料の共有や、野外調査（フィールドワーク）を踏まえた特色や疑問、本校近くにある文書館や博物館などの公的施設を活用して調べた特色や疑問と段階を踏むことで、単元を通して生徒自ら問い続け、課題解決に取り組むことを狙った。主題については、自然環境、人口都市、産業、交通、防災、生活文化の6つの視点を示し、統計データ等も上手く活用しながら、様々な事象から適切に調査できるようにする。後に学習する「(2)日本の地域的特色と地域区分」で取り上げる項目や「(3)日本の諸地域」にもつながり、「(4)地域の在り方」において地域の課題解決のための取組を理解し、考察、構想する学習にも結びついている。

(3) 研究の手立てについて

授業の設計についてと思考の変容が読み取れる「社会科学びの地図」の活用については教科論を参考にされたい。

【手立て1】 困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの場面の設計

- 本校社会科では生徒の挑戦心を「学習活動において、現代社会に見られる課題を解決しようとする」ことから、よりよい社会の実現を目指す姿」と捉えた。それを引き出すために、単元を通して生徒自ら問い続け課題解決に取り組めるような学習指導の工夫を行った。

【手立て2】 生徒自らの「挑戦心」の意識化

- 本校社会科では授業の設計と生徒の思考の変容を自身が認識するためなどを目的に「社会科学びの地図」という振り返りのワークシートを活用している。「学びの地図」を形成的評価につなげることで、生徒が学習を自己調整したり、学習課題を追究する際、各々の学習目標の設定の手助けとしている。詳細は教科論を参考にされたい。

【手立て3】 教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て

- 協働的な学びの充実のために、多量な情報を活用しながら異なる視点で考え、協働的に学ぶ場面を意図的に学習展開に組み入れた。それらは、単元の指導計画や本時の展開において示す。

3 単元の指導計画

(1) 指導目標

- ① 観察や野外調査などを行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させ、読図や用途に応じた地図の作成などの地理的技能を高める。
- ② 地域調査で明らかになったことを地図上に適切にまとめ、調査の手法や結果を多面的・多角的に考察させる。

(2) 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理的分野	<ul style="list-style-type: none"> 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

(3) 単元の指導計画（8時間扱い）

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

次	ねらい・学習活動等 ★教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
単元の導入 1時間	<p>【ねらい】 生徒の実体験や資料から学校周辺の特色ある地理的事象を見出し、中項目を貫く学習問題を立て、学習の見通しをもつ。</p>				
	<p>【単元を貫く学習問題】「附属中周辺にはどのような特色や課題があるのだろうか」</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> 直接体験地域の地理的事象に関心を持つ。認知地図（メンタルマップ）を用いて、学校周辺はどのような地理的事象があるか予想し、話し合う。 学びの地図に初発の考えを書く。 			●	<ul style="list-style-type: none"> ●地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。（学びの地図）

第一次 2時間	【第一次のねらい】「附属中周辺にはどのような特色や課題があるのだろうか」という課題の追究を通し、観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する				
	【第一次の課題①】「附属中周辺をどのように調査すれば良いのだろうか。」				
	<ul style="list-style-type: none"> 地形図や主題図などの資料から、地域で見られる地理的事象や特色など必要な情報を的確に読み取る技能を身に付ける。 地理的事象を、地図や図表、グラフなどに表現する技能を身に付け、考察する。 	●			<ul style="list-style-type: none"> 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的スキルを身に付けている。
	【第一次の課題②】「効率的に調査するにはどうしたら良いのだろうか。」				
	<ul style="list-style-type: none"> G I S（地理情報システム）を活用し、効果的な地形図、主題図の見方を学ぶ。 G I S（地理情報システム）を活用し、野外調査に向けた、資料を作成する。 	●			<ul style="list-style-type: none"> 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的スキルを身に付けている。
第二次 3時間	【第二次のねらい】「学校周辺について特色をまとめ、表現する活動を通し、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。」				
	【第二次の課題】「調査内容をどのように決定すれば良いのだろうか。」				
	【第二次の課題①】「野外調査を行い、附属中周辺の謎に迫ろう！」				
	<ul style="list-style-type: none"> 観察や野外調査、文献調査を行う際の観察対象の焦点化、野外調査方法の吟味、文献資料の収集などの適切な視点や、資料を活用する方法、地理的なまとめ方などの計画を立て、見直しをもつ。 地域調査の結果から、適切なまとめになるように調査の手法や結果を多面的・多角的に考察する。 ★附属中周辺のフィールドワークやG I S（地理情報システム）の活用を通して、様々な情報を多様な視点で考え、協働的な学びを意図的に設定した。 	●			<ul style="list-style-type: none"> 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。（調査メモ、学びの地図）
	【第二次の課題②】「フィールドワークを通して明らかになったことをまとめ、調査計画を立てよう！」				
	<ul style="list-style-type: none"> 地域調査を通して明らかになったことを地図上に描いたり、土地利用などを表した主題図などから、地域の地形と土地利用の関係を考察する。 G I S（地理情報システム）を活用して得た資料や、野外調査を行なって得た視点から、各グループで調査内容を決め、計画を行う。 統計資料等も上手く活用し、 	●			<ul style="list-style-type: none"> 地域調査を通して明らかになったことを地図上に描くことができている。 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。（発表資料・学びの地図）
単元のまとめ（本時） 2時間	【単元のまとめのねらい】仲間との学び合いを通して調査結果を考察し、学校周辺にはどのような特色があるのか理解し、どのような課題があるのかを調査結果から考察する。				
	【単元を貫く学習問題】「附属中周辺にはどのような特色や課題があるのだろうか」				
	<ul style="list-style-type: none"> 調べた結果を文章で表現したり、グラフや表にしてわかりやすく示したり、地図を活用して表現したりして、学校周辺地域の特色や課題を捉える。 	○	○	○	○単元の学習を振り返り、学校周辺地域の特色や課題をとらえることができている。（学びの地図、定期テスト）

4 本時の学習（7/8時間目）

(1) ねらい

- ① 地図等にまとめた調査結果を考察し、学校周辺地域の特色や課題を捉えることができる。
- ② よりよい地域社会の形成に向け、学校周辺地域の課題解決をどのように行うか関心をもつ。

(2) 展開

過程	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 ★教師や仲間との協働的な 学びの充実の手立て	観点 具体の評価規準 ○社会科において育成をめざす資 質・能力
導入 (5)	1 前時までに作成した地域調査の結果をまとめた地図から発表の内容を焦点化する。	・地域調査を行いとらえた地域の特色や課題をどのような形で発表するか整理させる。	
課題 提示	課題 私たちが住む附属中周辺にはどのような特色があるのだろうか？		
課題 追究 (20)	2 前時までに作成した地域調査の結果を地域の特色を中心に発表しあう。 3 グループ 5分×3回 視点：自然環境，人口都市，産業，交通，防災，生活文化	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果を文章で表現したり，グラフや表にしてわかりやすく示したり，地図を活用して表現したりして，学校周辺地域の特色をとらえる。 ・視点を明らかにして，特色ある事象を成り立たせている要因等も合わせて発表させる。 ★調査を通して得た様々な情報を，仲間との関わりも踏まえて考え，協働的な学びを意図的に設定した。 	
(10)	3 他のグループの発表を聞き，学校周辺地域の特色や課題についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのグループではとらえられなかった地域の特色の発表を聞き，考えを広げさせまとめられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 思 地図等にまとめたことや，仲間との学び合いから調査結果を考察し，地域の特色や課題を捉えることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ★附属中周辺の特色を，発表を通して得た多様な視点を踏まえて考え，協働的な学びを意図的に設定した。 	
(5)	4 他のグループの発表から改めて考えた学校周辺地域の特色や課題について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表から気付いた地域の特色や課題について整理し，考えの変容や深まりをもたせる。 	
○結論の例 学校周辺には，横断歩道を見てもスクランブルになっているところもあれば，設置されていないところもある。これは人の流れや交通量に偏りがあるからだ。このことから学校周辺では人口や交通の分布に偏りがあることがわかった。人や交通量の多い地域では事故の危険が多くなる課題がある。			
(5)	5 学校周辺地域の課題について取り上げ，どのように解決していくかに関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「(4)地域の在り方」につながるように，地域の課題の解決に関心をもたせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 主 学校周辺地域の課題解決をどのように行うか関心を持つことができる。 </div>	
整理 (5)	6 「学びの地図」を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習や，地域調査の結果を示した地図を踏まえ，地域調査の手法や地域の特色や課題についてわかったこと，単元を貫く学習問題の結論を「学びの地図」に記入させる。 	